

# 音楽科学習指導案

日時 令和元年11月13日(水)  
児童 2年生  
授業場  
授業者

## 1. 題材名「いい音みつけて」～ゆかいな時計～

## 2. 題材の目標 B 鑑賞(1) ア, イ

楽器の音色やリズムの変化、繰り返しを聴き取る活動から、音楽の表している様子を思い浮かべ、曲のよさや面白さを感じ取りながら曲全体を味わって聴くことや「ゆかいな時計」のお話を考えることを通して、曲想と音楽の構造との関わりについて気付くことができるようにする。

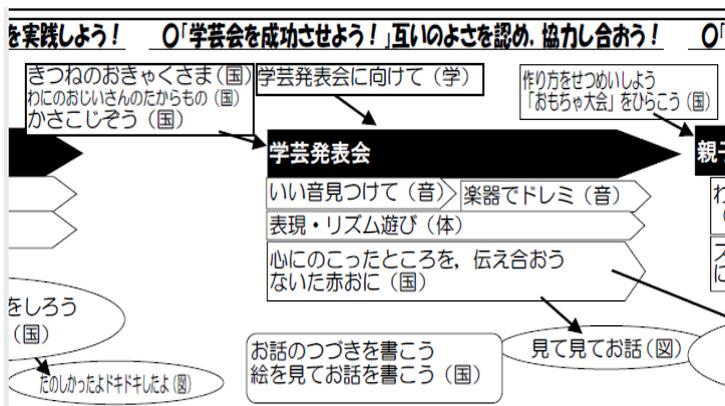
## 3. 題材観・児童観・指導観

『ゆかいな時計』は、「アメリカ軽音楽の巨匠」と評されるルロイ・アンダソンが作曲した作品であり、『シンコペーテッド・クロック』とも呼ばれている。正確に一定のリズムを刻む時計が、ときおり不規則にリズムを刻む様子をシンコペーションで表現するユーモラスな曲である。また、オーケストラの楽器に混じってウッドブロックやトライアングルの音など様々な音が聴こえてくるため、児童は親しみをもって鑑賞できるものとなっている。

児童は、本題材までの学びの中で、身のまわりの音の響きに注目したり、音そのものの面白さや曲の特徴を感じ取り、音楽に合わせて歩いたり、感じ取った気分を体の動きで表したりするなどして曲を楽しく聴く活動に取り組んできた。

本時では、よい解釈や深い捉え方ができるような発問をすることを通して、楽器の音色やリズムの面白さを感じ取って聴いたり、曲を聴いて想像したことを思い浮かべ、協働的に語り合いながら『ゆかいな時計』のお話を言葉や絵で表すことができるようにしていく。

## 4. 学年・学級経営年間プログラムとのかかわり



本題材は『「学芸会を成功させよう!」互いのよさを認め、協力し合おう!』のパッケージに位置づけられている。音楽科の「いい音みつけて」では、楽曲の面白さや魅力に気付いたり、自分の思いを共有したり交流・熟考したりすることを通して、児童が様々な視点で曲を捉えられるようにする。また、「楽器でドレミ」では、様々な楽器で演奏したり、互いの歌声や楽器の響きを聴き合い、合わせることのよさや楽しさに気付かせる活動を位置づけることを通して、児童の発想を生かし、楽しみながら協働的に学び合いができるような場をつくり、学芸発表会に生かしていく。

## 5. 題材を通して育む「問題解決力」に関わる資質・能力

本題材では、「ゆかいな時計」を形づくるリズムや音色、旋律の繰り返しといった要素について理解し、自ら曲の様子を想像し言葉で伝えたり、リズムの特徴を体の動きを通して表現したりする場面で、「問題解決力」の資質・能力を育むことを目指す。

本時では、「時計さん」はどう動いているのだろうか」という発問から、「ゆかいな時計」の曲想について考えたり、曲想の理由となる要素に気付かせていく。児童たちが、曲想及びその変化と、曲想と音楽の構造との関わりに気付くとともに、曲想から生じる自由な想像を膨らませ、「ゆかいな時計」のお話を考えていく活動を設定した。発問を通して、話の根拠となる音色の違いやリズムの変化を感じ取りながら楽曲のよさと関連付け、一人一人が考えを伝えていくなど、リーダーシップ・フォロワーシップを発揮し合いながら問題解決を図っていく。

## 6. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ア 楽曲を聴いて、音楽を形づくっている要素と曲想との関わり合いについて気付くことができている。	ア「ゆかいな時計」のお話を考えるために、繰り返しやリズムの変化、曲のよさやおもしろさについて味わいながら聴いている。	ア楽曲の音色や曲のよさ、リズムの面白さ、音楽の表している様子を思い浮かべる学習に進んで取り組んでいる。

## 7. 題材計画

時数	○主な学習活動	評価の観点			学び合いの過程 <b>手立て</b>
		知	思	主	
1 (本時)	○「ゆかいな時計」を聴く。 ○「ゆかいな時計のおはなし」のはじめ・中を考えることを通して、楽曲の音色や曲のよさ、リズムの面白さを知って、「ゆかいな時計」のお話を考える。		ア	ア	<b>手立て</b> ・「時計さん」はどう動いているのだろうか」と問うことから、「ゆかいな時計」のはじめの部分の曲想から「時計さん」がどのような動きをしているのか考えたり想像できるようにする。
2	○「ゆかいな時計のおはなし」のおわりを考えることを通して、楽曲の音色や曲のよさ、リズムの面白さについてまとめ、お話を完成させる。	ア	ア		<b>手立て</b> ・「時計さん」に起こったことを教えてくれるかな」と問うことから、楽曲終末部分で「時計さん」に起こったことは何かについて考えることができるようにする。

## 8. 本時案

### (1) 本時の目標

楽曲の音色や曲のよさ、リズムの面白さ、音楽の表している様子を思い浮かべたり、曲の特徴を捉えながら「ゆかいな時計」のおはなしを考えることができる。

### (2) 本時の展開 (1 / 2)

<b>学習活動</b> <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">児童・生徒の姿</span> ○教師の働きかけ・発問 (△補助発問, □指示・説明) <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">手立て</span>	<b>【評価の観点】</b> ◇評価の内容 ・指導上の留意点
<p><b>1 「ゆかいな時計」を聴く。</b></p> <p>○曲を聴いてみよう。                      ○聴いてみてどんなことを思ったかな？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         ・どこかできいたことがある気がする ・いろいろな楽器が使われている                          ・楽しそうな感じにきこえた ・カッコカッコがきこえたよ                     </div> <p>○カッコカッコって何を表しているのだろう？ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・時計じゃないかな</span></p> <p>○曲の名前を知らせる (この曲の名前は『ゆかいな時計』という名前です)</p> <p>○この曲には「時計さん」を出てくるんだけど、どんな感じの時計だと思う？ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・明るそう ・元気な感じ ・たくさん動きそう</span></p> <p>○どんな感じの「時計さん」なのか、たくさんのお考えが出たね。                      □今日は、今みんなに聴いてもらった「ゆかいな時計」がどんな曲なのかを知ってもらおうよ。そして、みんなの考える『時計さん』を主人公として、「ゆかいな時計のお話」を考えてみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">                         ゆかいな時計の「おはなし」を考えよう                     </div> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  </div> <p><b>2 ゆかいな時計の「おはなし」を考える。</b></p> <p>○どのようなお話になりそうかな？もう一度聴いてみよう。                      ○「時計さん」はどう動いているのかな？【曲のはじめのお話を考える】 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">手立て</span></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         ・歩いているみたいに聞こえるよ ・冒険しているんじゃないかな                          ・踊っているのかな ・朝、ゆっくりしてるんじゃないかな                     </div> <p>○どうしてそう思ったの？ (曲想と要素をつなげる)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         ・歩いているみたいに聞こえるよ ・冒険しているんじゃないかな                          ⇒カッコカッコのリズムが何回も続けて出てくるから (リズムの繰り返し)                          ・踊っているのかな                          ⇒カッコカッコが出てこない、きれいな音がきこえてきたから (リズムや曲調の変化)                          ・朝、ゆっくり寝ているんじゃないかな                          ⇒時計さんの針の動きがゆっくり動いているように聞こえるから (テンポ)                     </div> <p>○実は、この曲にはつづきがあるんだよ。つづきを聴いてみよう。                      ○おはなしのつづきはどなりそうかな？【曲の中のお話を考える】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         ・さっきと違ってジャンプしてる感じがする ・焦っている感じがする                          ・めざまし時計が鳴ったよ。誰かを起こしているのかな                     </div> <p>○どうしてそう思ったの？ (曲想と要素をつなげる)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         ・さっきと違ってジャンプしてる感じがする ・焦っている感じがする                          ⇒カッコカッコがリリリリの音が変わって、急いでいるように聞こえるから (音色の変化)                          ・めざまし時計が鳴ったよ。誰かを起こしているのかな                          ⇒リリリリという音がめざまし時計のベルになっているみたいだから (音色)                     </div> <p><b>3 本時の学習をふりかえる</b></p> <p>○曲に合ったおはなしを考えてみて、どんなことを思ったかな？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         ・曲からいろいろな想像をして、おはなしを考えることができおもしろかった                          ・おはなしをつくることで、リズムの違いに気付くことができたよ                          ・おわりの「時計さん」はどうなるのかな？                     </div> <p><b>4 次時の学習の見通しをもつ</b></p> <p>○次の時間は、曲の終わりの部分を聴いてもらって、お話を完成させるよ</p>	<p>・楽曲の構成が「はじめ—中—終わり (A—B—A) となっている」                      ・【はじめ (A)】を聴く。                      ・曲から聴こえてくる様々な音に興味や関心をもたせるために、曲の名前や教科書は見せずに聴かせる。                      ・主人公となる「時計さん」のシルエットを掲示する                      ・児童の言葉から出てきた「曲想」と「要素」を整理しながらホワイトボードに書く。                      ・児童には考えをまとめるためにワークシートを渡す。                      ・曲を聴く必要があれば再度曲を流す。</p> <p>・【中 (B)】を聴く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p><b>【思・判・表】</b>                          ア 楽曲を聴き、繰り返しやリズムの変化に気付いたりしながら曲のよさやおもしろさを「ゆかいな時計のお話」として表現している。                          (WS・発表)</p> </div>